



## 平成 30 年度 自己評価結果

厚生労働省による児童発達支援ガイドラインに基づき、利用児の保護者と教室の職員を対象にアンケート調査を実施・集計し、事業所内で話し合いをした結果を公表いたします。

### 利用定員と指導訓練室等スペースとの関係について

- ・ 個々の特性に応じた活動内容を考え、利用人数や教具等の設置を工夫しながら、活動量を確保できるようにしていく。

### 保護者会の開催や保護者同士の連携について

- ・ペアレントトレーニングの案内、事業所に先輩保護者さんを招く、保護者さん同士で日常生活や就学についての情報を交換できる場を提供する等、検討していく。

### 避難訓練の実施について

- ・年間の避難訓練の予定を掲示し、きりんだより等を通して実施の報告をするとともに、なるべく多くのお子さんに参加してもらえるように日程の調整をしていく。

### 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルについて

- ・安心して通所して頂けるよう、職員全体で各種マニュアルの共通理解を図り、保護者さんに周知していく。

### 満足度について

- ・「子どもが通所を楽しみにしている」「アドバイスを聞いて良かった」という意見をたくさんいただいた。今後もより良い支援を提供できるよう努力していく。

※注目度が特に高かった項目に対して、検討事項を記載しております。

以上